

大学コンソーシアム市川産官学連携プラットフォーム主催
2023年度活動報告会・2024年度第1回共同FD研修会実施報告

研修会テーマ	数理・データサイエンス・AI教育の取り組み
研修会目的	全国的に数理・データサイエンス・AI教育プログラムが急速に整備されてきている中、より実践的な授業設計の事例を共有し、「専門知識×データサイエンス教育」の学修効果や今後各大学で取り組むべきことを考える機会とする。
開催日時	2024年8月3日(土) 14:00~15:10 (活動報告会との同時開催)
開催形式	Zoomによるオンライン配信 ※録画視聴あり
出席人数	107名(アンケート回答数)
プログラム	第一部 2023年度活動報告会 ・2023年度活動報告 推進委員会委員長 千葉商科大学教授 朽木 量 ・共同研究報告「共生のための文化芸術プログラム(ACCS = Art and Culture for Convivial Society)」 和洋女子大学准教授 小野真嗣(研究期間 2022年10月~2023年9月) 第二部 2024年度第1回共同FD研修会 ・講演「東京医科歯科大学における数理・データサイエンス・AI教育の取り組み」 東京医科歯科大学教授 中林 潤
アンケート結果	活動報告会は「良く理解できた」「理解できた」との回答が100%であった。 共同FD研修会は「大変参考になった」「参考になった」との回答が100%であった。 意見及び感想は以下のとおり。(一部掲載) ・今回の共同研究報告を通じて、大学連携、地域連携が着実に深まっていることを実感できました。 ・共生のための文化芸術プログラム発表では、学生が積極的に参画し地域貢献していることがとてもよく分かりました。 ・共同研究報告は学生の実践的活動が効果的に行われていることがよく理解できた。 ・数理・データサイエンス・AI教育の取り組みにおいては、医療分野を含みあらゆる学術分野において同教育が求められており、学科や学生個々人の数理的知識のばらつきを解消するフォローアップ教育の必要性について再認識いたしました。 ・専門職にAIをどのように活用していくか、他職種との連携の中にも活用できるということなど、多くの気づきがありました。 ・東京医科歯科大学の数理・データサイエンス・AI教育に対する取り組みは大変興味深く拝見した。特にリテラシーレベル科目の説明が非常に分かりやすいためよく理解でき、本学のリテラシーレベルについても考えることができた。